

第82回 簿記実務検定第 3 級試験問題

商業簿記

(制限時間 1 時間 30 分)

1

下記の取引の仕訳を示しなさい。ただし、勘定科目は、次のなかからもっとも適当なものを使用すること。

現	金	当	座	預	金	受	取	手	形	売	掛	金
有	価	証	券	前	払	金	仮	払	金	土		地
支	払	手	形	買	掛	金	借	入	金	当	座	借
前	受	金		仮	受	金	所	得	税	預	り	金
有	価	証	券	仕		入	給		料	支	払	利
有	価	証	券	売	却	損						息

- a. 宮崎商店に商品 ¥350,000 を売り渡し、代金はさきに受け取っていた内金 ¥100,000 を差し引き、残額は掛けとした。
- b. 売買目的で保有している熊本商事株式会社の株式20株（/株の帳簿価額 ¥74,000）を/株につき ¥79,000 で売却し、代金は当店の当座預金口座に振り込まれた。
- c. 本月分の給料 ¥600,000 の支払いにあたり、所得税額 ¥48,000 を差し引いて、従業員の手取額を現金で支払った。
- d. 愛媛商店から借用証書によって ¥450,000 を借り入れていたが、本日、利息 ¥9,000 とともに現金で返済した。
- e. 店舗を建てるため、土地 ¥6,200,000 を購入し、代金は登記料と買入手数料の合計額 ¥370,000 とともに小切手を振り出して支払った。
- f. 沖縄商店に対する買掛金の支払いとして、さきに得意先那覇商店から商品代金として受け取っていた約束手形 ¥210,000 を裏書譲渡した。
- g. 出張中の従業員から当店の当座預金口座に ¥80,000 の振り込みがあったが、その内容は不明である。
- h. 鹿児島商店から売掛金 ¥700,000 を同店振り出しの小切手で受け取り、ただちに当座預金に預け入れた。ただし、当座借越勘定の残高が ¥320,000 ある。

2

佐世保商店の次の取引を入金伝票・出金伝票・振替伝票のうち、必要な伝票に記入しなさい。ただし、不要な伝票は空欄のままにしておくこと。

取 引

6月/7日 商品売買の仲介をおこない、高松商店から手数料として現金 ¥19,000 を受け取った。

(伝票番号 No.38)

〃 日 全商銀行に定期預金として小切手#25 ¥400,000 を振り出して預け入れた。

(伝票番号 No.72)

3

長崎商店の下記の取引について、

(1) 仕訳帳に記入して、総勘定元帳の当座預金勘定と買掛金勘定に転記しなさい。

(2) 仕入帳と買掛金元帳に記入して締め切りなさい。

ただし、i 商品に関する勘定は3分法によること。

ii 仕訳帳の小書きは省略する。

iii 元丁欄には、当座預金勘定と買掛金勘定に転記するときだけ記入すればよい。

取 引

/月 7日 福岡商店から次の商品を仕入れ、代金は掛けとした。

A 品 600個 @¥380 ¥228,000

B 品 200〃 〃〃500 ¥100,000

8日 福岡商店から仕入れた上記商品の一部に品質不良のものがあったので、次のとおり返品した。

なお、この代金は買掛金から差し引くことにした。

B 品 10個 @¥500 ¥ 5,000

/3日 佐賀商店に対する買掛金の一部 ¥90,000 を、小切手#17を振り出して支払った。

/5日 大分商店に次の商品を売り渡し、代金のうち ¥70,000 は同店振り出しの小切手#9で受け取り、ただちに当座預金に預け入れた。なお、残額は掛けとした。

A 品 500個 @¥540 ¥270,000

26日 佐賀商店から次の商品を仕入れ、代金の一部については、下記の約束手形#4を振り出して支払い、残額は掛けとした。

C 品 700個 @¥720 ¥504,000

No. 4 約束手形		佐賀県佐賀市神野東4-12-40 佐賀商店 佐賀 一郎 殿		支払期日 平成 ○ 年 2 月 26 日	長 崎 4201 0149-042
収入 印紙 200円 長崎	金額	¥300,000			
	上記金額をあなたまたはあなたの指図人へこの約束手形と引き替えにお支払いいたします				
平成 ○ 年 1 月 26 日					
振出地 長崎県長崎市泉町1125					
住 所 長崎商店					
振出人 長崎 太郎 (長崎)					
支払場所 株式会社 全商銀行長崎支店					

4

次の各問いに答えなさい。

(1) 松山商店（個人企業）の当期の資料は下記のとおりである。よって、次の金額を計算しなさい。

a. 費用総額

b. 期末の負債総額

資 料

i 収益総額	¥2,720,000
ii 当期純利益	¥ 95,000
iii 期首の資産総額	¥2,200,000
iv 期首の負債総額	¥ 628,000
v 期末の資産総額	¥2,385,000

(2) 高知商店（決算年/回 /2月3/日）は、A品とB品を販売し、先入先出法によって商品有高帳に記帳している。下記の取引と商品有高帳から、

a. 期首商品棚卸高を求めなさい。

b. (ア)と(イ)に入る金額を求めなさい。

取 引

/月 6日 香川商店から次の商品を仕入れ、代金は掛けとした。

A 品	400個	@¥ 900	¥360,000
B 品	200〃	〃〃 1,200	¥240,000

/2日 徳島商店に次の商品を売り渡し、代金は掛けとした。

A 品	600個	@¥1,300	¥780,000
-----	------	---------	----------

		商 品 有 高 帳						単位：個		
(先入先出法)		品 名			A 品					
平成 〇年	摘 要	受 入			払 出			残 高		
		数量	単価	金 額	数量	単価	金 額	数量	単価	金 額
/ /	前 月 繰 越	100	800	80,000				100	800	80,000
		300	900	270,000				300	900	270,000
6	香 川 商 店 ()		900	()				100	800	80,000
								700	900	630,000
/2	徳 島 商 店				()	()	()			
					()	()	()	()	()	(イ)

		商 品 有 高 帳						単位：個		
(先入先出法)		品 名			B 品					
平成 〇年	摘 要	受 入			払 出			残 高		
		数量	単価	金 額	数量	単価	金 額	数量	単価	金 額
/ /	前 月 繰 越	100	1,200	120,000				100	1,200	120,000
		200	1,300	260,000				200	1,300	260,000
6	香 川 商 店 ()		1,200	()				()	1,200	(ア)
								()	1,300	()
								()	()	()

5

四国商店（個人企業 決算年/回 /2月3/日）の総勘定元帳勘定残高と決算整理事項は、次のとおりであった。よって、

- (1) 決算整理仕訳を示しなさい。
- (2) 備品勘定に必要な記入をおこない、締め切りなさい。ただし、勘定記入は、日付・相手科目・金額を示すこと。
- (3) 損益計算書を完成しなさい。

元帳勘定残高

現金	¥ 674,000	当座預金	¥ 960,000	売掛金	¥ 2,100,000
貸倒引当金	8,000	繰越商品	520,000	備品	580,000
支払手形	820,000	買掛金	1,020,000	資本金	2,600,000
引出金	40,000	売上	7,610,000	受取手数料	17,000
仕入	4,820,000	給料	1,560,000	支払家賃	684,000
消耗品費	68,000	雑費	72,000	現金過不足 (貸方残高)	3,000

決算整理事項

- a. 期末商品棚卸高 ¥490,000
- b. 貸倒見積高 売掛金残高の2%と見積もり、貸倒引当金を設定する。
- c. 備品減価償却高 取得原価 ¥725,000 残存価額は零(0) 耐用年数は5年とし、定額法により計算し、直接法で記帳している。

$$\text{定額法による年間の減価償却費} = \frac{\text{取得原価} - \text{残存価額}}{\text{耐用年数}}$$

- d. 現金過不足勘定の ¥3,000 は雑益とする。
- e. 引出金勘定の ¥40,000 は整理する。

公益財団法人 全国商業高等学校協会主催・文部科学省後援
第82回 簿記実務検定 3級 **商業簿記** **〔答案用紙〕**

1		借	方	貸	方
	a				
	b				
	c				
	d				
	e				
	f				
	g				
	h				

1 得点	2 得点	3 得点	4 得点	5 得点	総得点
---------	---------	---------	---------	---------	-----

試 験 場 校	受 験 番 号

2

入金伝票		No. _____	
平成○年 月 日			
科目	入金先	殿	
摘要	金額		
合計			

出金伝票		No. _____	
平成○年 月 日			
科目	支払先	殿	
摘要	金額		
合計			

振替伝票		No. _____	
平成○年 月 日			
勘定科目	借方	勘定科目	貸方
合計		合計	
摘要			

3 (1)

仕 訳 帳					1
平成 ○年	摘要	元 子	借 方	貸 方	
/ /	前期繰越高	✓	3,170,000	3,170,000	

総 勘 定 元 帳								2
当 座 預 金								
平成 ○年	摘要	仕 子	借 方	平成 ○年	摘要	仕 子	貸 方	
/ /	前期繰越	✓	480,000					

買 掛 金								14
平成 ○年	摘要	仕 子	借 方	平成 ○年	摘要	仕 子	貸 方	
/ /	前期繰越	✓					273,000	

(2) (注意) 仕入帳と買掛金元帳は締め切ること。

仕 入 帳

1

[illegible]

帳元金掛買

福 岡 商 店

1

[illegible]

佐賀商店

2

[illegible]

4 (1)

a	$\frac{2}{f}$	b	$\frac{2}{f}$
---	---------------	---	---------------

(2)

a	$\mathbb{F}$		
b	$\mathcal{A}$	$\mathbb{F}$	$\mathcal{I} \quad \mathbb{F}$

2

得点

3

得点

4

得点

5

(1)

	借 方	貸 方
a		
b		
c		
d		
e		

(2) (注意) 勘定には、日付・相手科目・金額を記入し、締め切ること。

備 品		6
1/1 前期繰越	580,000	

(3)

損 益 計 算 書

四国商店

平成○年/月/日から平成○年/2月3/日まで

費 用	金 額	収 益	金 額
売 上 原 価		売 上 高	
給 料		受 取 手 数 料	
()		()	
()			
支 払 家 賃			
消 耗 品 費			
雑 費			
()			

5
得点

1	借 方		貸 方	
	借	方	貸	方
a	前受金 売掛金	100,000 250,000	売上	350,000
b	当座預金	1,580,000	有価証券 有価証券売却益	1,480,000 100,000
c	給料	600,000	所得税預り金 現金	48,000 552,000
d	借入金 支払利息	450,000 9,000	現金	459,000
e	土地	6,570,000	当座預金	6,570,000
f	買掛金	210,000	受取手形	210,000
g	当座預金	80,000	仮受金	80,000
h	当座借越 当座預金	320,000 380,000	売掛金	700,000

2

入金伝票 平成〇年6月17日				出金伝票 平成〇年 月 日			
No. 38				No. _____			
科目	受取手数料	入金先	高松商店 殿	科目	支払先	金 額	金 額
商品売買の仲介手数料			190000	摘要			
合 計			190000	合 計			

3

振替伝票 平成〇年6月17日				No. 72			
平成〇年6月17日				平成〇年 月 日			
勘定科目	借方	勘定科目	貸方	勘定科目	借方	勘定科目	貸方
定期預金	400000	当座預金	400000	定期預金	400000	定期預金	400000
合 計	400000	合 計	400000	合 計	400000	合 計	400000
全商銀行に定期預金預け入れ 小切手#25振り出し							

(1)

3

仕 訳 帳				1			
平成〇年	摘要	借 方	貸 方	平成〇年	摘要	借 方	貸 方
/ / 7	前期繰越高 (仕入)	3,170,000	3,170,000	/ / 7	前期繰越高 (仕入)	3,170,000	3,170,000
8	(買掛金)	14	328,000	8	(買掛金)	14	328,000
13	(買掛金)	14	5,000	13	(買掛金)	14	5,000
15	諸口(売上)	2	90,000	15	諸口(売上)	2	90,000
26	(仕入) 諸口	200,000	270,000	26	(仕入) 諸口	200,000	270,000
	(支払手形)	504,000	300,000		(支払手形)	504,000	300,000
	(買掛金)	14	204,000		(買掛金)	14	204,000

2

総勘定元帳				2			
当座預金				14			
平成〇年	摘要	借 方	貸 方	平成〇年	摘要	借 方	貸 方
/ / 15	前期繰越 売上	480,000	113	/ / 15	前期繰越 売上	480,000	113
		70,000				70,000	
18	仕入	5,000	273,000	18	仕入	5,000	273,000
13	当座預金	90,000	328,000	13	当座預金	90,000	328,000
		26	204,000			26	204,000

(2) (注意) 仕入帳と買掛金元帳は締め切ること。

仕 入 帳				1
平成 〇 年	摘 要	内 訳	金 額	
1 7	福岡商店 掛け			
	A 品 600個 @¥380	228,000		
	B 品 200〃 @¥500	100,000	328,000	
8	福岡商店 掛け戻し			
	B 品 10個 @¥500		5,000	
26	佐賀商店 約手・掛け			
	C 品 700個 @¥720		504,000	
31	総仕入高		832,000	
〃	仕入戻し高		5,000	
	純仕入高		827,000	

買 掛 金 元 帳

福岡商店						1
平成 〇 年	摘 要	借 方	貸 方	借方 残高	貸方 残高	
/	前月繰越		97,000	貸		97,000
7	仕 入 れ		328,000	〃		425,000
8	仕入戻し	5,000		〃		420,000
31	次月繰越	420,000				
		425,000	425,000			

佐賀商店						2
平成 〇 年	摘 要	借 方	貸 方	借方 残高	貸方 残高	
/	前月繰越		176,000	貸		176,000
13	支 払 い	90,000		〃		86,000
26	仕 入 れ		204,000	〃		290,000
31	次月繰越	290,000				
		380,000	380,000			

4 (1)

a	¥	2,625,000	b	¥	718,000
---	---	-----------	---	---	---------

(2)

a	¥	730,000	
b	ア	¥	120,000
	イ	¥	180,000

5

(1)

借 方			貸 方		
	仕 入	520,000	繰 越 商 品		520,000
a	繰 越 商 品	490,000	仕 入		490,000
b	貸倒引当金繰入	34,000	貸倒引当金		34,000
c	減価償却費	145,000	備 品		145,000
d	現金過不足	3,000	雑 益		3,000
e	資 本 金	40,000	引 出 金		40,000

(2) (注意) 勘定には、日付・相手科目・金額を記入し、締め切ること。

備 品				6
1/1	前期繰越	580,000	12/31 減価償却費	145,000
			〃 次期繰越	435,000
		580,000		580,000

(3)

損 益 計 算 書
平成〇年/月/日から平成〇年/2月3/日まで
四国商店

費 用	金 額	収 入	益 高	金 額
売上原価	4,850,000	売上		7,610,000
給料	1,560,000	受取手数料		17,000
(貸倒引当金繰入)	34,000	(雑益)		3,000
(減価償却費)	145,000			
支払家賃	684,000			
消耗品費	68,000			
雑費	72,000			
(当期純利益)	217,000			
	7,630,000			7,630,000

(i 貸倒引当金繰入は、貸倒償却でもよい。
ii 当期純利益の記入は、赤字でもよい。)